

## 平成19年6月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年4月23日

上場会社名 株式会社 構造計画研究所

（コード番号：4748 JASDAQ）

（URL <http://www.kke.co.jp>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

服部 正太

責任者役職・氏名 取締役執行役員財務部長

三木 隆司

（TEL：03-5342-1141）

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 ② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

### 2. 平成19年6月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年7月1日～平成19年3月31日）

#### (1) 経営成績の進捗状況

（百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年6月期第3四半期	7,206 (15.4)	606 (—)	553 (—)	292 (—)
18年6月期第3四半期	6,244 (3.3)	△160 (—)	△219 (—)	△143 (—)
(参考) 18年6月期	10,323 (9.0)	749 (36.3)	676 (46.3)	360 (—)

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年6月期第3四半期	48 44	48 33
18年6月期第3四半期	△23 99	—
(参考) 18年6月期	60 06	59 79

(注) 1. 期中平均株式数：平成19年6月期第3四半期 6,031,733株  
 平成18年6月期第3四半期 5,998,100株

2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対同四半期増減率を示しております。

#### (2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年6月期第3四半期	12,221	3,516	28.8	584 64
18年6月期第3四半期	12,160	2,937	24.2	484 47
(参考) 18年6月期	10,367	3,408	32.9	564 24

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年6月期第3四半期	△1	△177	1,005	1,212
18年6月期第3四半期	△585	△194	1,494	1,017
(参考) 18年6月期	898	△259	△556	386

[参考]

平成19年6月期の業績予想（平成18年7月1日～平成19年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	10,800	950	550

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 91円07銭

※ 平成18年8月28日発表の通期業績予想に変更はありません。

ただし、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、内外需の増加が続き、高水準の企業収益や総じて良好な業況感が維持される中、設備投資が引き続き増加するなど底堅く推移してまいりました。

このような経営環境にあつて、当社は「知識テクノロジー企業」として、営業力の強化に取り組むとともに、これまで蓄積してきた「知」の資産を最大限に活用し、多様な知識・技術を融合した付加価値の高いサービスの提供に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期における業績は好調に推移し、売上高は72億6百万円（前年同期比15.4%増、前年同期比9億62百万円増）となり、収益が改善され、営業利益は6億6百万円、経常利益は5億53百万円、四半期純利益は2億92百万円となりました。

(事業別の状況について)

事業区分につきましては、従来は、「ソフトウェア開発」「エンジニアリングコンサルティング」「パッケージソフト」と区分しておりましたが、当期より、「ソフトウェア開発」を「システムソリューション」、「パッケージソフト」を「プロダクツサービス」にそれぞれ事業名称を変更いたしました。これとともに、従来の「ソフトウェア開発」のうち、要求定義あるいは基本検討などの上流工程や研究試作的な業務については、技術を軸としたコンサルティング力が提供価値の中核であるとの認識に基づき、「エンジニアリングコンサルティング」に組み入れております。このため、以下に挙げる事業別の状況は、前第3四半期の実績を変更後の事業区分に組み替えて、当第3四半期との比較を行っております。

【エンジニアリングコンサルティング】

エンジニアリングコンサルティング事業における当第3四半期の売上高は、25億4百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

通信キャリアなどの大手研究所向けのソフトウェア基本検討や研究開発業務、建築物の構造設計監理業務や構造設計コンサルティング、解析コンサルティングなどの受注が好調に推移し、稼働率が高まったことなどにより、売上高、利益ともに拡大いたしました。

【システムソリューション】

システムソリューション事業における当第3四半期の売上高は、30億10百万円（前年同期比18.6%増）となりました。通信業や製造業の情報化投資の意欲が回復し、特に、通信キャリアや住宅・設備メーカー向けのソフトウェア開発において、これまで培ってきた高い技術と品質が評価され、売上高、利益の拡大に貢献いたしました。

【プロダクツサービス】

プロダクツサービス事業における当第3四半期の売上高は、16億91百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

建築・土木CADソフト販売からの撤退により、事業全体の売上高は減少しておりますが、熱流体解析ソフト「COSMOS」、「EFD.Lab」、高速・高精度ネットワークシミュレーター「QualNet」などの販売が好調に推移しており、事業全体の利益性は改善しております。

(参考1) 受注の状況

(百万円未満切捨て)

	19年6月期第3四半期			18年6月期第3四半期		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
エンジニアリング コンサルティング	2,830 (△5.0)	2,504 (28.2)	2,177 (△1.3)	2,977	1,953	2,206
システムソリューション	4,151 (7.3)	3,010 (18.6)	3,319 (0.3)	3,869	2,538	3,308
プロダクツサービス	1,734 (△5.9)	1,691 (△3.4)	387 (15.8)	1,842	1,751	334
合計	8,715 (0.3)	7,206 (15.4)	5,884 (0.6)	8,689	6,244	5,850

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

(1) 財政状態の変動状況

当第3四半期における総資産は、前第3四半期末に比べ61百万円増加し、122億21百万円となりました。また、純資産は前第3四半期末に比べ5億79百万円増加し、35億16百万円となりました。

主な増減要因は、次のとおりであります。

- ・流動資産では、売掛金早期回収に伴い現金及び預金が1億94百万円増加、売掛金が1億62百万円減少しました。受注残高増加に伴い、たな卸資産が3億62百万円増加、その他が2億30百万円減少しました。固定資産では、有形固定資産が82百万円減少、無形固定資産が1億1百万円減少、投資その他の資産が主に海外パートナー企業等への出資により82百万円増加しました。
- ・流動負債では、短期借入金が5億円減少し、1年以内に返済予定の長期借入金が35百万円減少、その他が3億97百万円増加し、固定負債では、長期借入金が3億25百万円減少しました。
- ・純資産では、主に四半期純利益の増加により、利益剰余金が6億88百万円増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における「現金及び現金同等物の期末残高」は、前事業年度末に比べ8億26百万円増加し、12億12百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、下記のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期において営業活動の結果使用した資金は、1百万円(前年同期比5億84百万円の資金の増加)となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期純利益5億52百万円、売上債権の減少額7億69百万円であり、支出の主な内訳はたな卸資産の増加額9億72百万円、法人税等の支払額4億48百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期において投資活動の結果使用した資金は、1億77百万円(前年同期比17百万円の資金の増加)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出82百万円、投資有価証券等の取得による支出1億80百万円、保険積立金の解約等による収入89百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期において財務活動の結果得られた資金は、10億5百万円(前年同期比4億89百万円の資金の減少)となりました。これは主に短期借入金の純増加額12億円および長期借入れによる収入9億円、長期借入金の返済による支出9億38百万円および配当金の支払額1億6百万円によるものであります。

[業績予想に関する定性的情報等]

当社は、エンジニアリングコンサルティングおよびシステムソリューションによる売上高が高い比率を占めており、これらの成果品の引渡しが、多くの顧客が決算期を迎える3月末から6月末に集中する傾向があります。

前記の通り、当第3四半期までの業績は好調に推移しており、受注残高や工事進行管理基準である知価創出高の状況等を考慮いたしますと、平成18年8月28日発表の通期業績予想は十分に達成できるものと判断しておりますが、今後想定される不確定要素を考慮し、慎重を期して据え置くことといたします。

今後、通期業績予想の修正の必要が生じた場合には、ジャスダック証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかにご報告させていただきます。

(参考2) 通期業績に占める割合

(百万円未満切捨て)

	19年6月期		18年6月期		通期実績
	第3四半期	通期予想	第3四半期	通期実績	
	百万円	%	百万円	百万円	百万円
売上高	7,206	(66.7)	10,800	6,244	10,323
経常利益	553	(58.3)	950	△219	676
当期純利益	292	(53.1)	550	△143	360

(注) パーセント表示は、通期業績に占める第3四半期の割合を示しております。

○ 添付資料

第3四半期貸借対照表、第3四半期損益計算書、第3四半期株主資本等変動計算書、第3四半期キャッシュ・フロー計算書

なお、当社ホームページ (<http://www.kke.co.jp>) にも、補足資料を掲載しておりますので、併せてご参照ください。

以上

[添付資料]

(1) 第3四半期貸借対照表

(単位：千円、単位未満切捨て)

科 目	当第3四半期 会計期間末 (平成19年3月31日現在)	前第3四半期 会計期間末 (平成18年3月31日現在)	増 減		前事業年度 要約貸借対照表 (平成18年6月30日現在)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
( 資 産 の 部 )					
I 流 動 資 産					
1. 現 金 及 び 預 金	1,212,576	1,017,948	194,628		386,311
2. 受 取 手 形	75,145	104,814	△29,668		75,721
3. 売 掛 金	1,478,089	1,640,431	△162,341		1,511,322
4. た な 卸 資 産	1,980,955	1,618,879	362,075		1,006,140
5. そ の 他	618,463	862,852	△244,388		492,050
貸 倒 引 当 金	△12,255	△55,537	43,281		△56,551
流 動 資 産 合 計	5,352,975	5,189,388	163,586	3.2	3,414,994
II 固 定 資 産					
1. 有 形 固 定 資 産					
(1) 建 物	1,816,093	1,904,979	△88,885		1,883,275
(2) 土 地	3,568,407	3,568,407	—		3,568,407
(3) そ の 他	77,690	71,730	5,959		72,613
有 形 固 定 資 産 合 計	5,462,191	5,545,117	△82,926		5,524,296
2. 無 形 固 定 資 産	365,802	467,589	△101,786		471,908
3. 投 資 そ の 他 の 資 産	1,120,716	1,041,825	78,891		1,039,544
貸 倒 引 当 金	△80,119	△83,887	3,768		△83,643
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	1,040,596	957,937	82,659		955,900
固 定 資 産 合 計	6,868,590	6,970,644	△102,053	△1.5	6,952,105
資 産 合 計	12,221,566	12,160,033	61,533	0.5	10,367,099

(単位：千円、単位未満切捨て)

科 目	当第3四半期 会計期間末 (平成19年3月31日現在)	前第3四半期 会計期間末 (平成18年3月31日現在)	増 減		前事業年度 要約貸借対照表 (平成18年6月30日現在)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
( 負 債 の 部 )					
I 流 動 負 債					
1. 買 掛 金	726,080	754,200	△28,119		598,872
2. 短 期 借 入 金	1,930,000	2,430,000	△500,000		730,000
3. 1年以内に返済予定の長期借入金	1,180,000	1,215,000	△35,000		1,165,000
4. そ の 他	1,847,120	1,421,843	425,276		1,318,808
流動負債合計	5,683,200	5,821,044	△137,843	△2.4	3,812,681
II 固 定 負 債					
1. 長 期 借 入 金	2,017,500	2,342,500	△325,000		2,071,250
2. 退職給付引当金	964,096	939,895	24,200		955,553
3. 役員退職慰労引当金	40,000	119,410	△79,410		119,410
固定負債合計	3,021,596	3,401,805	△380,209	△11.2	3,146,213
負債合計	8,704,796	9,222,849	△518,052	△5.6	6,958,894
( 資 本 の 部 )					
I 資 本 金	—	1,010,200	—	—	—
II 資 本 剰 余 金					
1. 資 本 準 備 金	—	252,550	—	—	—
2. その他資本剰余金	—	877,971	—	—	—
資本剰余金合計	—	1,130,521	—	—	—
III 利 益 剰 余 金					
1. 任 意 積 立 金	—	340,070	—	—	—
2. 当期末処分利益	—	473,885	—	—	—
利益剰余金合計	—	813,956	—	—	—
IV その他有価証券評価差額金	—	28,628	—	—	—
V 自 己 株 式	—	△ 46,123	—	—	—
資 本 合 計	—	2,937,183	—	—	—
負債・資本合計	—	12,160,033	—	—	—

(単位：千円、単位未満切捨て)

科 目	当第3四半期 会計期間末 (平成19年3月31日現在)	前第3四半期 会計期間末 (平成18年3月31日現在)	増 減		前事業年度 要約貸借対照表 (平成18年6月30日現在)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
( 純 資 産 の 部 )					
I 株 主 資 本					
1. 資 本 金	1,010,200	—	—		1,010,200
2. 資 本 剰 余 金					
(1) 資 本 準 備 金	252,550	—	—		252,550
(2) その他資本剰余金	874,266	—	—		877,679
資本剰余金合計	1,126,816	—	—		1,130,229
3. 利 益 剰 余 金					
その他利益剰余金					
任意積立金	269,598	—	—		269,598
繰越利益剰余金	1,232,725	—	—		1,049,266
利益剰余金合計	1,502,323	—	—		1,318,865
4. 自 己 株 式	△123,280	—	—		△77,453
株主資本合計	3,516,059	—	—	—	3,381,840
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等					
その他有価証券評価差額金	709	—	—		26,364
評価・換算差額等合計	709	—	—	—	26,364
純 資 産 合 計	3,516,769	—	—	—	3,408,204
負 債 ・ 純 資 産 合 計	12,221,566	—	—	—	10,367,099

## (2) 第3四半期損益計算書

(単位：千円、単位未満切捨て)

科 目	当第3四半期 会計期間 (自平成18年7月1日 至平成19年3月31日)	前第3四半期 会計期間 (自平成17年7月1日 至平成18年3月31日)	増 減		前事業年度 要約損益計算書 (自平成17年7月1日 至平成18年6月30日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売 上 高	7,206,955	6,244,061	962,894	15.4	10,323,490
II 売 上 原 価	4,695,751	4,351,196	344,555	7.9	6,753,701
売 上 総 利 益	2,511,203	1,892,864	618,339	32.7	3,569,789
III 販売費及び一般管理費	1,904,446	2,053,583	△149,137	△7.3	2,820,147
営業利益又は 営業損失(△)	606,757	△160,719	767,476	—	749,641
IV 営業外収益	22,530	16,373	6,157	37.6	22,798
V 営業外費用	75,535	74,871	664	0.9	96,166
経常利益又は 経常損失(△)	553,752	△219,217	772,970	—	676,273
VI 特別利益	44,620	26,867	17,752	66.1	26,867
VII 特別損失	45,984	34,695	11,288	32.5	35,739
税引前当期純利益 又は税引前当期純損失(△)	552,389	△227,045	779,434	—	667,402
法人税、住民税及び事業税	166,484	7,484	158,999	—	399,389
法人税等調整額	93,721	△90,609	184,330	—	△92,976
当期純利益 又は当期純損失(△)	292,184	△143,920	436,104	—	360,988
前期繰越利益		617,806			
当期未処分利益		473,885			



## (3) 第3四半期株主資本等変動計算書（自平成18年7月1日 至平成19年3月31日）

(単位：千円、単位未満切捨て)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金	
				プログラム 等準備金	固定資産 圧縮積立金	
平成18年6月30日残高	1,010,200	252,550	877,679	1,130,229	130,716	32,102
当四半期の変動額						
剰余金の配当						
四半期純利益						
自己株式の処分			△3,412	△3,412		
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額 (純額)						
当四半期の変動額合計	—	—	△3,412	△3,412	—	—
平成19年3月31日残高	1,010,200	252,550	874,266	1,126,816	130,716	32,102

	株主資本					
	利益剰余金				自己株式	株主資本合計
	その他利益剰余金			利益剰余金 合計		
	特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金			
平成18年6月30日残高	6,780	100,000	1,049,266	1,318,865	△77,453	3,381,840
当四半期の変動額						
剰余金の配当			△108,725	△108,725		△108,725
四半期純利益			292,184	292,184		292,184
自己株式の処分					32,385	28,973
自己株式の取得					△78,212	△78,212
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額 (純額)						—
当四半期の変動額合計	—	—	183,458	183,458	△45,827	134,219
平成19年3月31日残高	6,780	100,000	1,232,725	1,502,323	△123,280	3,516,059

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年6月30日残高	26,364	26,364	3,408,204
当四半期の変動額			
剰余金の配当			△108,725
四半期純利益			292,184
自己株式の処分			28,973
自己株式の取得			△78,212
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額 (純額)	△25,654	△25,654	△25,654
当四半期の変動額合計	△25,654	△25,654	108,564
平成19年3月31日残高	709	709	3,516,769

## (4) 第3四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円、単位未満切捨て)

科 目	期 別	当第3四半期 会計期間 (自平成18年7月1日 至平成19年3月31日)	前第3四半期 会計期間 (自平成17年7月1日 至平成18年3月31日)	前事業年度 要約キャッシュ・フロー計算書 (自平成17年7月1日 至平成18年6月30日)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)		552,389	△227,045	667,402
2. 減価償却費		212,168	229,927	305,701
3. 受取利息及び受取配当金		△883	△1,057	△3,224
4. 支払利息		71,645	71,554	93,595
5. 売上債権の減少額		769,198	795,480	450,138
6. たな卸資産の増加額		△972,295	△904,228	△290,976
7. 仕入債務の増加額		105,573	186,412	51,709
8. 未払費用の減少額		△456,817	△481,690	△4,689
9. その他		241,183	171,595	61,120
小 計		522,162	△159,051	1,330,776
10. 利息及び配当金の受取額		902	1,072	3,264
11. 利息の支払額		△76,200	△73,880	△90,745
12. 法人税等の支払額		△448,452	△354,137	△344,642
営業活動によるキャッシュ・フロー		△1,587	△585,997	898,652
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の取得による支出		△21,368	△17,345	△25,999
2. 無形固定資産の取得による支出		△82,472	△170,667	△211,987
3. 投資有価証券の取得による支出		△180,432	△38,014	△38,014
4. 保険積立金の解約等による収入		89,863	36,959	36,959
5. 敷金の減少による収入		31,135	10,243	10,512
6. その他		△14,063	△16,008	△31,445
投資活動によるキャッシュ・フロー		△177,338	△194,832	△259,974
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期借入金の純増額		1,200,000	1,730,000	30,000
2. 長期借入れによる収入		900,000	700,000	700,000
3. 長期借入金の返済による支出		△938,750	△938,750	△1,260,000
4. 自己株式の取得による支出		△78,765	△34,554	△63,223
5. 自己株式の処分による収入		28,973	97,213	94,028
6. 配当金の支払額		△106,266	△58,926	△56,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,005,191	1,494,982	△556,161
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額		826,265	714,152	82,515
VI 現金及び現金同等物の期首残高		386,311	303,795	303,795
VII 現金及び現金同等物の期末残高		1,212,576	1,017,948	386,311